

## 国立民族学博物館蔵 篠田 統 資料目録 I

著者	石毛 直道
雑誌名	国立民族学博物館研究報告別冊
巻	008
ページ	iii-367
発行年	1989-03-29
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/3475">http://hdl.handle.net/10502/3475</a>

## 篠田 統 先生 略 歴

### [解説]

先生の大阪学芸大学定年退官を記念して、『篠田統先生退官記念論文集』（『生活文化研究』第13冊 篠田統先生退官記念論文集刊行委員会・生活文化同好会、編集・発行 1965年）が出版された。この本の冒頭に先生自身のつくられた略歴が掲載されている。それを原文のまま転載したのがこの年譜の前半である。1965年以後の後半部分は編者の作成したものである。中国時代に何回か叙勲されているが、著書の『風俗古今東西』のなかで、勲章をありがたがる人間をやゆした文章を書かれているのでこの略歴には記さない。

1899(明32)・9月21日 大阪に生。父親勤め人にて、爾来転宅十数回、小学校も3回目の錦林校5年生、明治43年から京都に定着、それからは任地へは両親のみが巡行、こちらは北白川の梁山泊主におさまる。

1917・3月 京都府立一中卒。

1920・3月 三高(二部乙類)卒。

1923・3月 京大理学部化学科卒(指導教官 小松茂教授),すぐ動物学科大学院へ入学(指導教官 川村多実二教授)。

1926・8月 Rockefeller 財団国際研究員,並に文部省在外研究員として,大学院在学のまま,オランダ Utrecht 大学動物学教室,ドイツ München 大学化学教室,及びイタリヤ Napoli 水族館へ留学,28年6月帰朝。

1928・4月 Utrecht 大学より Doctor in de Wisen Natuurkunde

1929・1月 京都大学より理学博士。4月より理学部講師(比較生理学・酵素学)として十年間の無給講師の第1歩をふみ出す。大学院は卒業だか退学だか,いまだに通知なく不明。或は在学中やも不知。4月より平安女学院講師(家事科学),7月より京都高等蚕糸学校講師(動物生理生態学)を兼ね。

1938・3月 陸軍技師。関東軍,40年より北支軍軍医部所属。昆虫防疫。

1945・8月 北京衛生試験所技師,12月内地引揚。

1946・4月 京大農学部応用植物学研究嘱託。敗残兵に学界復帰の途を開いて呉れた応植主任今村駿一郎教授の俠気に感激。

1947・5月 大阪二師教授,次年学大教授。現在にいたる。この間大阪府衛生部

(一年でにげ出す)・京都市衛生局(割合ユカイなりし)嘱託, 滋賀県立女子短大(5年), 島根県立女子短大(11年)講師なども兼任。現在は大阪外語大(自然科学史)と四條畷学園女子短大(營養学)へ出向いている。来る四月以降は四條畷に予約済。なお, 京大人文研科学史研究室の共同研究班には, 農学部時代からずっとお邪魔させてもらっている。(シノダ)

[以下編者作成]

- 1965・1月 日本風俗史学会理事に就任, 以来, 生涯をつうじて理事にとどまる。
- 1966・3月 大阪学芸大学を定年退官。
- 1966・4月 四條畷学園女子短期大学教授。
- 1969・3月 四條畷学園女子短期大学教授を退職。
- 1973・5～6月 台湾で民俗調査をおこなう。
- 1975・10月 日本風俗史学会から『中国食物史』の業績にたいして, 江馬賞をさずけられる。
- 1975・12月 カリフォルニア大学バークレー校で開かれた日米栄養学シンポジウムに出席, 稲作の食事文化と栄養に関する研究発表をおこなう。
- 1976・5月 韓国で民俗調査をおこなう。
- 1977・1月 直腸癌の手術をうける。
- 1977・8月 日本風俗史学会のバリ島研修旅行に参加。
- 1978・8月10日 死亡。